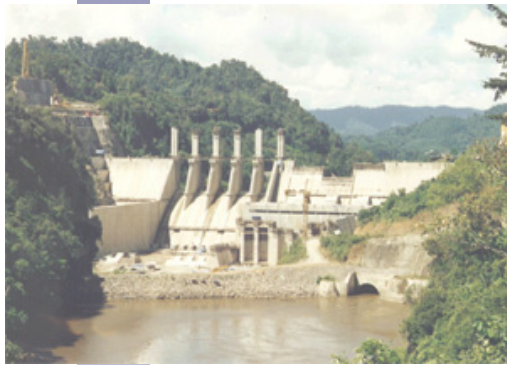


会社案内

KOJIMA

 KOJIMA CORPORATION SDN.BHD.



<http://www.kojimacorporation.com>



目次

1. ごあいさつ	P 2
2. 企業理念	P 2
3. 会社情報	P 3
4. コンストラクション・マネージメント・サービス	P 4
5. コンストラクション・クレーム・サービス	P 6
6. プロジェクト・診断・サービス	P 7
7. 業務実績	
7-1. 上水供給工事（マレーシア）	P10
7-2. 工場新設工事（マレーシア）	P10
7-3. ハイバン国道 トンネル建設工事（ベトナム）	P10
7-4. ヒルトンホテル・KLセントラル建設工事（マレーシア）	P11
7-5. メリディアンホテル・KLセントラル建設工事（マレーシア）	P11
7-6. 下水トンネル建設工事（シンガポール）	P12
7-7. コンドミニアム開発工事（マレーシア）	P12
7-8. KL国際空港・サテライト建設工事（マレーシア）	P12
8. 創業者実績	
8-1. LRT地下鉄トンネル建設工事（マレーシア）	P14
8-2. カノム火力発電所建設工事（タイ）	P14
8-3. KLCCタワー建設工事（マレーシア）	P15
8-4. コタパンジャンダム建設工事（インドネシア）	P16
8-5. ウダイプール・セメントプラント建設工事（ネパール）	P16
8-6. バリクパパン国際空港建設工事（インドネシア）	P16
8-7. ビリビリダム建設工事（インドネシア）	P17
8-8. セランゴール上水供給工事（マレーシア）	P17
8-9. サマナラウエバダム水力発電所・仮排水路建設工事（スリランカ）	P18
8-10. ツンワットシン灌漑用水路建設工事（タイ）	P18
8-11. ラパス～マルカーラ国道建設工事（ホンジュラス）	P18
8-12. ガルガルロックフィルダム建設工事（アルジェリア）	P18
8-13. ジェッタ下水シールドトンネル掘削工事（サウジアラビア）	P19
8-14. ヤンブー海水循環配管工事（サウジアラビア）	P19
8-15. クリカニ水力発電所建設工事（ネパール）	P19
8-16. マハベリ灌漑用水路建設工事（スリランカ）	P19
8-17. ケネリダム水力発電所建設工事（マレーシア）	P20
8-18. アサハンダム水力発電所建設工事（インドネシア）	P21
8-19. テメンゴールダム水力発電所建設工事（マレーシア）	P22
8-20. 三井金属神岡鉱山・探査用トンネル掘削工事（日本）	P23
8-21. 河川災害復旧工事（日本）	P23
8-22. 水窪ダム水力発電所建設工事（日本）	P23



ごあいさつ

31年間日本のゼネコンに在籍し、50歳の節目の1998年5月にマレーシアにてKOJIMA CORPORATION (M) SDN. BHD. を創業いたしました。
2009年11月には社名をKOJIMA CORPORATION SDN. BHD. に変更致しました。

現在まで、幸運にも日本国内海外を問わず、数多く歴史に残る大型案件に、エンジニアとして参加することが出来ました。現場での施工担当経験は20年となり、現場への施工指導となるコンサルタント業務も32年を超えました。その内、国際工事関連業務経験は、すでに43年を越えさまざまな状況における経験を積ませていただきました。

私は、現場工務係 (Contract Administration Section) を担当する機会が多く、毎日の出来高、工程管理、工事日報の管理、支出金の分析、Letter管理 (Correspondence)、企業者、企業者代理人のコンサルタント、さらに下請け業者との出来高、追加費用の交渉など特に工事損益に大きくかかわる業務を行って参りました。



代表取締役社長：小島 二士雄

企業者の立場、元請の立場、下請けの立場のどんな状況であっても、私の持っている経験で皆様のお役に立てると信じております。

企業理念



“ 知恵を働かせて
お客様を幸せにする ”

**“Applying Wisdom
to Assure Customer's Satisfaction”**

Wisdom: 【知恵・智慧】ち - え :
物事の理を悟り、適切に処理する能力を言い、
般若ではふつう「智慧」と書き、真理を明らかにし、悟りを開く働きを言います。



会社情報

2019年5月1日 現在

会社名： KOJIMA CORPORATION SDN. BHD.

会社登録番号： 636587-V

設立年月日： 2009年 11月 13日

登録住所： No.2-1A, Jalan Pandan 2/2, Pandan Jaya, Cheras,
55100 Kuala Lumpur, Malaysia

授權資本： RM 1,000,000.00

払込済み資本金： RM 925,000.00

会社役員： 代表取締役； 小島 二士雄 (KOJIMA FUJIO)
取締役； 小島 壮之 (KOJIMA TAKEYUKI)
取締役； 小島 添英 (KOJIMA TENEI)

Company Secretary： NEW MIRAGE MANAGEMENT CONSULTANTS SDN. BHD. (602103-D)

取引銀行： CIMB BANK BERHAD. (13491-P)

主体事業内容： 主にプロジェクト・マネージメント・コンサルタント業務
及び建設工事・クレーム・コンサルタント業務



コンストラクション・マネージメント・サービス

コンストラクション・マネージメント・サービス

KOJIMA CORPORATION は長い現場施工経験と、数多くのコンストラクション・マネージメントの経験からコンストラクション・マネージメント方式の業務に強みを発揮いたします。

コンストラクション・マネージメント(CM)とは？

コンストラクション・マネージメント(CM)とは、プロジェクトの、エンジニアリング・機器の調達・建設を、予算内の工事費で、必要な品質・性能を満たし、予定通りの工期内に完成するために、発注者、設計者 (Architect Engineer: A/E) と工事管理の専門家であるコンストラクション・マネージャー (CMR) の3者がチーム組んで、プロジェクトの初期の段階から最終段階に至るまで、発注者 (施主) の立場に立ってプロジェクト全般の運営管理を行う方式であります。

CM方式の特色

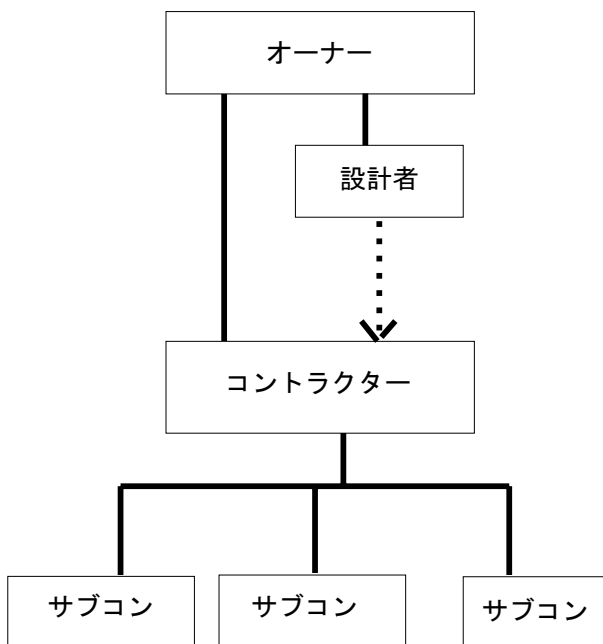
建設プロジェクトを推進するに当たって、CMRが介入しない従来の施工方式と異なるCM方式の特色は次の通りです。

1. 発注契約のフローの相違

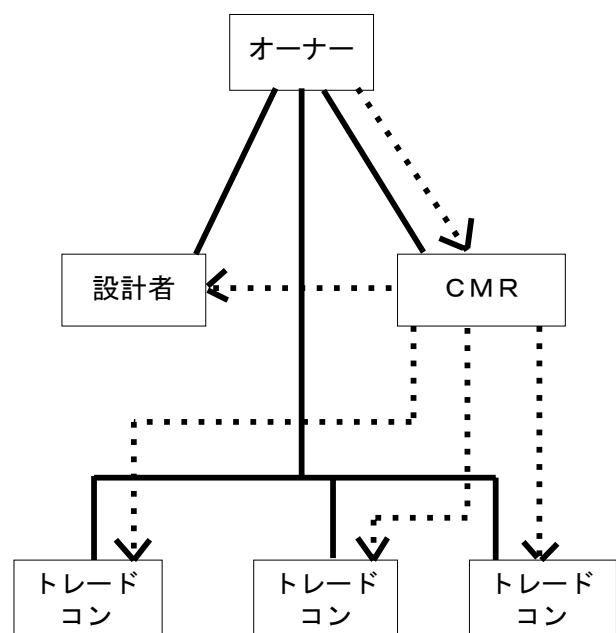
設計者 (A/E) とは別に、CMRは発注者との間にCM業務契約を結び、また発注者は直接各職種別コントラクター (Trade Contractor) と調達・建設施工の契約を個々に締結致します。

これにより発注者は設計者 (A/E) に設計と品質管理の役務を委託し、施工管理のプロフェッショナルであるコンストラクション・マネージャー (CMR) にスケジュール、コストの管理と各職種別施工業者 (TC) の指揮監督の役務を委託することになり、能率的、経済的な建設が可能になります。

(1) 従来の方式



(2) CM方式



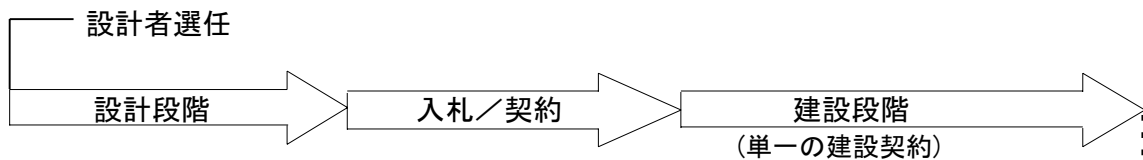
※実線は契約関係
点線は指示関係

2. 段階施工方式（Phased Construction）の採用

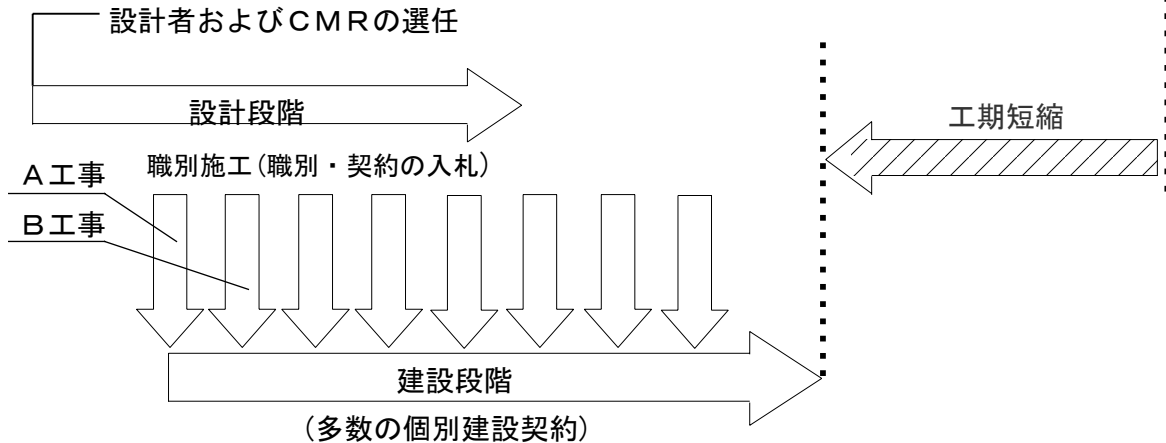
従来の発注方式では、詳細設計完了までは入札・契約が出来ず、その時間的損失は大きかったのですが、この方式ではCMRが発注者及び設計者（A/E）と協力して、コストやスケジュールについてのデータを提供し、設計完了部分から順次各職種別施工業者（TC）に発注し施工を開始することが出来ます。この結果設計から発注に至るまでタイム・ロスは最小限に抑制され、良品質で経済的な成果を早期に実現することが可能になります。

発注者にとって、不確定要素や変更の可能性が多く、特に規模が大きく完成時期の確保が重要なプロジェクトにはCM方式の採用がオーナーにとって利益を生み出す事になります。

(1) 従来方式



(2) CM方式による段階施工



CM方式による段階施工と従来の施工方式の比較



コンストラクション・クレーム・サービス

当社の特徴

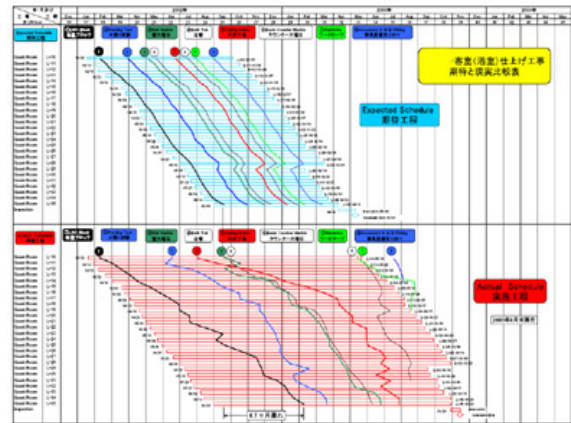
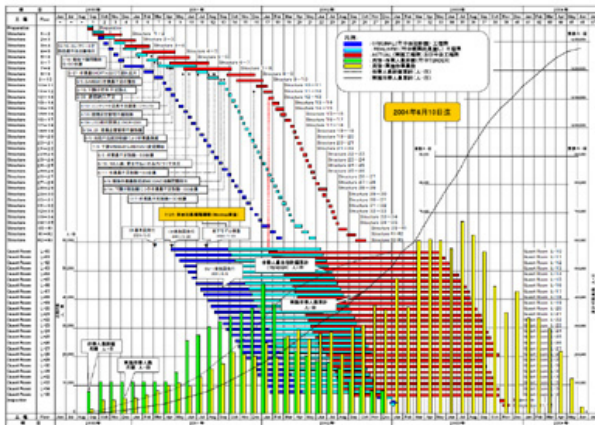
クレーム書を提出するにあたって大変重要なことは、

- 発生した事実関係の記述が相手側に重要なインパクトを与えることとなります。
- またクレームを受ける立場としては、そのクレーム要求金額がリーズナブルであるか大変興味のあるものです。

わが社のクレームのポイントは現場の担当技術者からの実情を解析し、分析し、技術理論による技術レポートを作成することです。企業者、コンサルタント・エンジニア、コントラクターのいずれもが傷のつかない方法を用いることにより、相手を怒らせることなくスムーズに解決が可能となります。

クレーム書の作成

土木及び建築工事現場に対応した企業者（または元請）提出用クレーム書の作成は直接貴社の現場に赴き当社と貴社スタッフと合同のクレームチームを編成し作成いたします。クレームに対する企業者またエンジニアとの交渉及びコンサルタント。クレーム会議の出席、あるいは相手側への説明、相手側からの質問の返答及び資料の作成、そしてネゴのアシストを行います。





プロジェクト診断サービス

工事遅延の回復指導

土木工事現場、建築工事現場、大型工事を問わず、現場担当所長が毎日一番気にかけている事は『工程遵守』であると言われております。

工事が遅延することによって、約束した時期に完成しないため企業者に迷惑をかける結果となるからであります。また、会社信用が落ち、将来的な営業にも悪い結果となることでしょう。

当社は施工及び現場指導の長い経験から適切な工事遅延の原因を探りだす指導をさせていただきます。

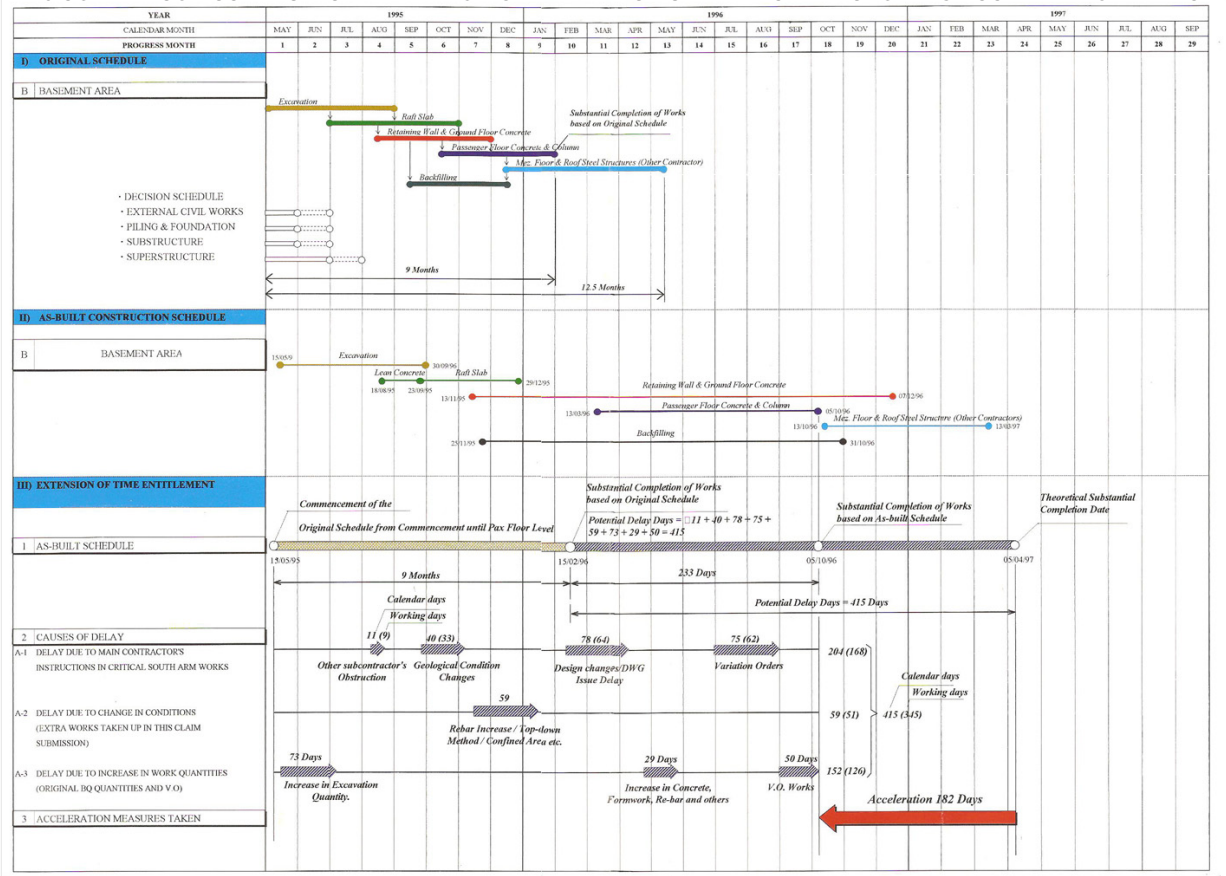
赤字解消・損益向上策指導

工事に問題が生ずると、工事原価の増大ばかりでなく、工期の遅延が多くの場合発生いたします。

赤字工事の起因となった原因を分析し技術報告書を企業者にアピールすることが損益向上の非常に重要な手段であります。

その道のコンサルタントを利用することにより、第3者的な視点から全体を見渡せることが出来ますので、相互理解に基づき、穏便な対応が可能となります。

The COMPARISON SCHEDULES BETWEEN ORIGINAL AND AS-BUILT AND CHART SHOWING ACCELERATION EFFECT.





原価管理ソフトの販売と指導

建設工事現場の管理者は、常に工事の損益を念頭に工事を進めることが大事なことです。ただ、支出金を安く、安くと考えているだけでいいかと言うと、必ずしも正解とは言えません。重要な公共性の強い現場など、時にはお金を余分に出しても優秀な人材を雇い入れをするとか、新品の機械・プラントを購入し、中古使用による故障ロスタイムを軽減する施策も必要であります。

多少原価が高くても結果として能率が上がりコスト削減に結びつくこともございます。

お金を使わないためではなく、『お金を使うために』判断の重要な資料となる工事原価の把握と最終損益の見通しを常に手元においておかねばなりません。

その為には、『工事原価管理ソフト』は工事現場の必需品であります。これらを導入することにより、貴社の毎月の工事収入、工種別支出金の分析が可能となり、そのデータを元にした最終損益見通しの精度が向上いたします。

WORK CODE 1 & 2 - DESCRIPTION		COMPANY : 001- ABC CORPORATION	PROJECT : 001- XYZ PROJECT	PERIOD : SEP 2006	WORK CODE 1 : 002 TO 004	WORK CODE 2 : 0001 TO 0006	DATE : 30-Sep-06	PAGE : 1/3	PERSON IN CHARGE : PE 002 - Dr. K.
002 Earth Work	0001 Site Clearing	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	002	0001	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.
002 Earth Work	0002 Excavation (Common)	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	002	0002	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.
002 Earth Work	0003 Excavation (Rock)	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	002	0003	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.
004 R/C Structural Work	0006 Concrete	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	004	0006	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.
004 R/C Structural Work	0007 Reinforcement Bar	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	004	0007	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.
004 R/C Structural Work	0008 Formwork	001- ABC CORPORATION	001- XYZ PROJECT	SEP 2006	004	0008	30-Sep-06	1/3	PE 002 - Dr. K.

COST AND FORECAST SUMMARY SHEET FOR WORK CODE 1, 2 & 3 - PERSONNEL		DATE :		
COST SUMMARY SHEET FOR WORK CODE 1, 2 & 3 - PERSONNEL		PERSON IN CHARGE :		
BALANCE SHEET FOR CONSTRUCTION COST CODE		CURRENCY : 1 RM		
COST TITLE	BALANCE B/F	DEBIT	CREDIT	BALANCE C/F
100 COST CODE CORRECTION	0.00	0.00	0.00	0.00
101 MATERIAL COST	10,084,142.10	1,038,856.88	75,096.51	11,047,032.47
102 LABOR COST	1,327,861.52	194,916.49	980.68	1,521,797.33
103 SUBMITTING COST	29,150,960.75	91,052.34	57,043.82	29,555,749.27
TOTAL (DIRECT COST)	40,511,264.37	2,146,855.71	134,891.01	42,524,579.07
105 TEMPORARY FACILITY COST	5,648,674.39	54,348.60	0.00	5,703,022.99
106 MACHINERY COST	7,228,063.37	127,263.50	22,323.05	7,333,123.82
107 WATER/ELECTRICITY COST	2,638,962.92	121,599.51	26,637.15	2,794,044.36
108 TRANSPORTATION COST	5,597,431.88	288,706.70	0.00	5,886,138.58
109 PROPERTY CUSTODY COST	26,529.29	105.00	0.00	26,634.29
TOTAL (INDIRECT COST)	21,139,669.95	671,807.31	73,166.20	21,638,366.95
111 DESIGN COST	0.00	0.00	0.00	0.00
112 SAFETY MANAGEMENT COST	1,119,133.55	5,509.70	0.00	1,117,423.25
113 LABOR CONTROL COST	0.00	0.00	0.00	0.00
114 TAX/PUBLIC DUES FEE	1,824,359.15	55,281.84	0.00	1,883,620.79
115 RENTING COST	126,653.40	0.00	0.00	126,653.40
116 INSURANCE FEE	1,402,349.60	0.00	0.00	1,402,349.60
117 STAFF SALARY	1,372,562.60	0.00	0.00	1,372,562.60
118 STAFF SALARY (OVERTIME)	795,271.59	0.00	0.00	795,271.59
119 STAFF SALARY (BONUS)	1,152,311.16	0.00	0.00	1,152,311.16
121 EXPATRIATE SALARY	3,818,635.42	105,275.08	0.00	3,923,910.48
122 LEGAL WELFARE FEE	0.00	0.00	0.00	0.00
123 WELFARE COST	827,623.91	46,059.30	0.00	873,674.33
124 OFFICE SUPPLIES COST	449,662.12	5,720.60	0.00	455,382.72
125 COMMUNICATION COST	435,854.63	29,332.14	18,111.43	447,075.32
126 TRAVELLING FEE	1,149,388.42	36,727.55	0.00	1,186,115.97
127 ENTERTAINMENT COST	158,852.64	11,923.88	0.00	170,776.50
128 COMPENSATION FEE	100.00	0.00	0.00	100.00
129 ADVERTISEMENT COST	4,650.00	0.00	0.00	4,650.00
131 MEETING EXPENSES	21,821.04	0.00	0.00	21,821.04
132 FESTIVAL EXPENSES	41,690.57	0.00	0.00	41,690.57
133 INVESTIGATION COST	244,940.12	909.30	0.00	245,849.42
134 MISCELLANEOUS COST	33,032.98	1,205.00	0.00	34,237.98
TOTAL (SITE EXPENSES)	12,644,092.90	301,915.24	18,111.43	12,928,296.69
GRAND TOTAL	74,296,918.22	3,020,528.26	226,162.68	77,091,283.82



業務実績



上水供給工事のプロモーション及び計画

対応期間	2004年11月～2006年10月
工事場所	マレーシア - パハン州及びセランゴール州



取水場予定地



トンネル呑口付近



トンネル吐口付近

新規工場建設工事の計画立案のアドバイス

対応期間	2005年7月～2005年9月
企業者	トップ・サーモス株式会社
工事場所	マレーシア - ケダ州



ハイバン国道トンネル建設工事のマネージメントのアドバイス

対応期間	2003年6月～2003年6月
企業者	ハザマ・コーポレーション
コンサルタント	日本工営株式会社（日本）
工事場所	ベトナム - ハイバン





Construction Management Consulting by KOJIMA CORPORATION

ヒルトンホテル建設工事のマネージメントのアドバイス

工事概要：地上35階建て地下1階5つ星 x 514 客室延べ床面積：72,898m²

対応期間	2003年3月～2005年5月
企業者	DAISHO ASIA DEVELOPMENT株式会社
工事場所	マレーシア - KLセントラル



メリディアンホテル建設工事のマネージメントのアドバイス

地上35階建て地下1階4つ星 x 423 客室延べ床面積：52,977m²

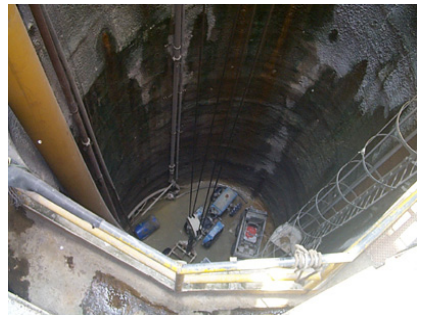
対応期間	2003年3月～2005年5月
企業者	DAITO ASIA DEVELOPMENT株式会社
工事場所	マレーシア - KLセントラル





下水トンネル建設工事のマネージメントのアドバイス

対応期間	2002年8月～2002年8月
企業者	Groupage International 株式会社
工事場所	シンガポール



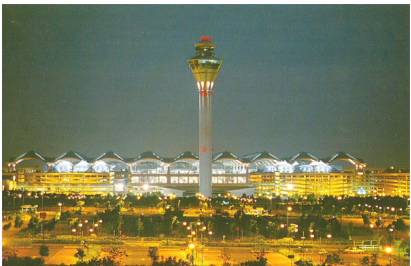
リゾート・コンドミニアム建設工事のプロモーションのアドバイス

対応期間	2000年1月～2001年2月
企業者	キャピタル・リアリティー株式会社
工事場所	マレーシア - ランカウイ



KLIA サテライトビルディング建設工事の紛争解決

対応期間	1998年9月～2001年12月
企業者	HO HUP CONSTRUCTION 株式会社
工事場所	マレーシア - セランゴール



KLIAターミナルビルディング



- ・ターミナルビルディング(左上)
- ・サテライトビルディング(右下)



サテライトビルディング



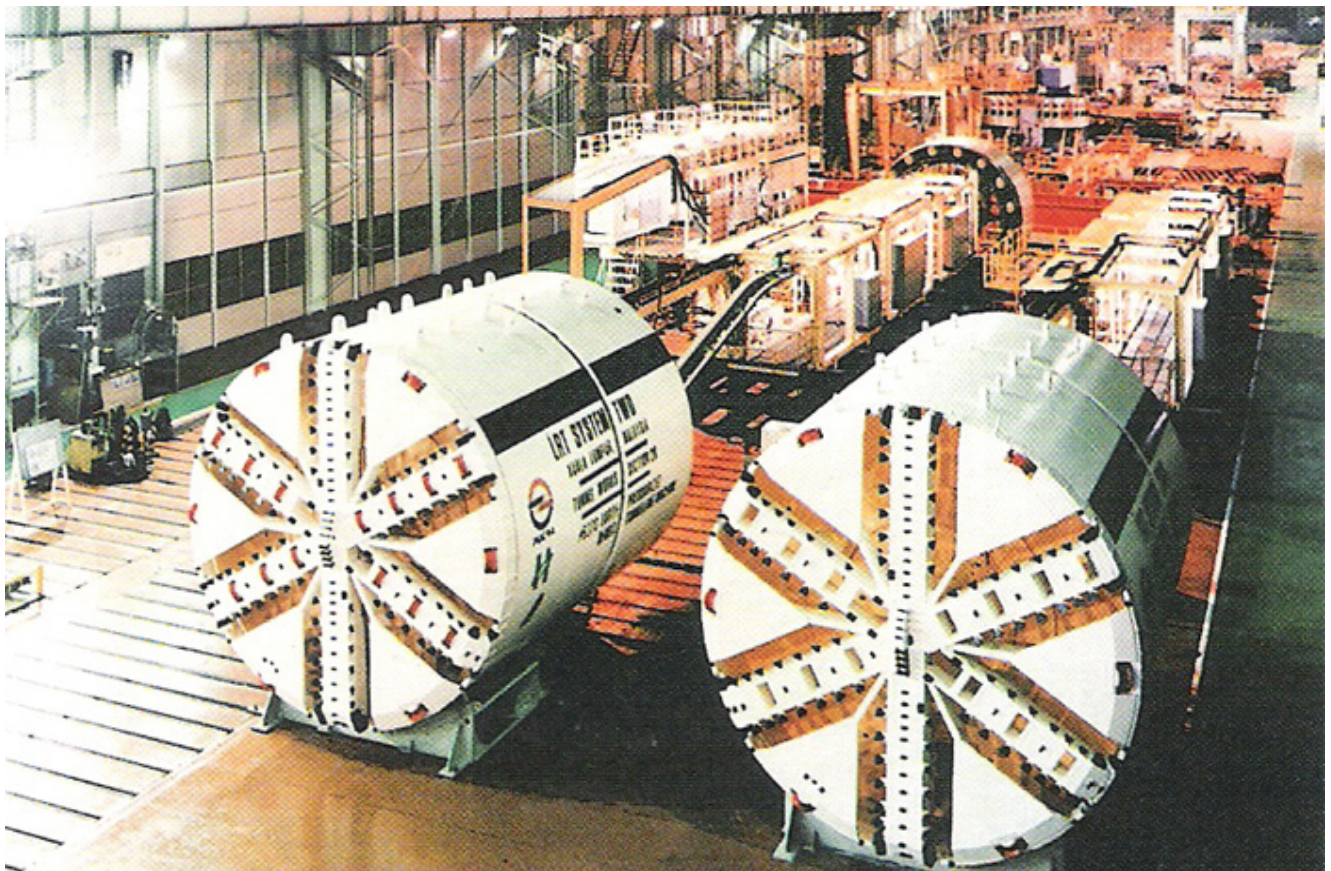
創業者実績



Work Experience by Founder

LRT地下鉄シールドトンネル建設工事

工事目的	KL市内地下鉄
管理担当期間	1994年11月～1997年6月
企業者	ペングルサン LRT 株式会社 (PLRT)
コンサルタント	ハルクロー社 (Halcrow)
請負契約金額	RM 100million
工事場所	マレーシア - クアラルンプール



Shield Machine

カノム火力発電所建設工事

工事目的	火力発電
管理担当期間	1993年～1995年
企業者	タイ電力庁
コンサルタント	施工業者フルターンキー方式
請負契約金額	US\$ 35 Million
工事場所	タイ - スラタニ



Work Experience by Founder

KLCC タワー建設工事（躯体および外装工事）

工事用途	ペトロナス本社事務所
工事期間	1994年2月～1996年6月（29ヶ月）
企業者	KLCCシティーセンター株式会社
建設場所	マレーシア - クアラルンプール
施工管理会社	ルーラーマクギャバン株式会社
基本設計会社	シーザー・ペリー(米国)
設計会社	KLCCアーキテクト
設計コンサルタント	アダムソン・アソシエイツ（米国）
構造設計	サートン・トマセック(米国) ランヒル社（マレーシア）





コタパンジャンダム水力発電所建設工事

工事目的	水力発電
工事期間	1992年10月～1996年12月
設計発電量	380,000KW (114,000x 3基)
企業者	インドネシア電力庁
コンサルタント	東電設計株式会社 (TEPSCO) (日本)
施工場所	インドネシア - ペカンバルー



ウダイプールセメントプラント建設工事

工事目的	セメント生産 (原石山開発、搬送ロープウエー、プラント)
工事期間	1990年～1993年
工事場所	ネパール - ウダイプール

バリクパパン国際空港建設工事

工事目的	国際空港
工事期間	1990年～1994年
企業者	インドネシア政府
コンサルタント	株式会社・日本空港コンサルタンツ (日本)
工事場所	インドネシア - バリクパパン



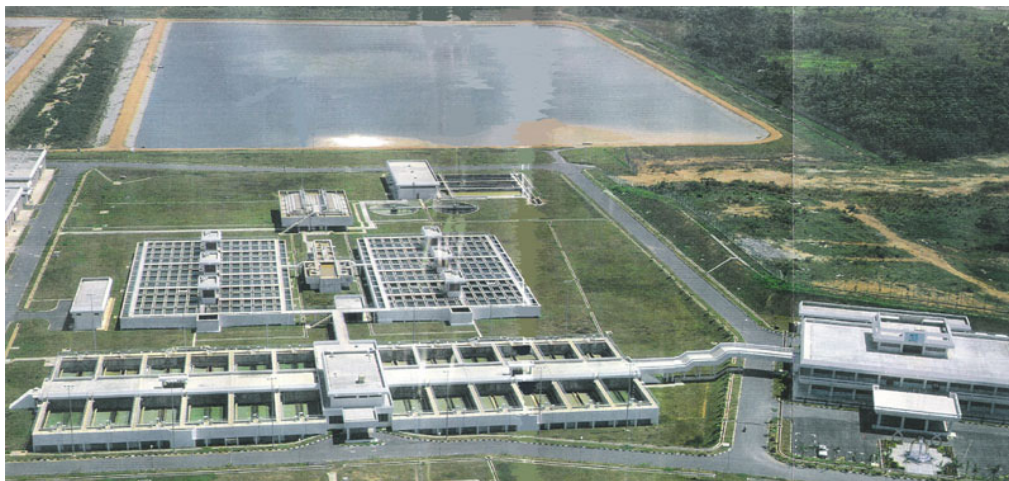
Work Experience by Founder

ビリビリロックフィルダム建設工事

工事目的	多目的開発（水力発電・治水など）
工事期間	1990年～1997年
企業者	インドネシア政府
工事場所	インドネシア - ウジュンパンダン・スラウェシ島

セラングール上水道工事-第1期工事

工事目的	クアラルンプール及びセラングール州の水道供給
工事期間	1990年～1993年
計画給水量	950,000m ³ /日（11m ³ /秒）
企業者	セラングール州水道局（JBA）
コンサルタント	SMHB 株式会社（マレーシア）
請負契約金額	RM 830 Million（¥42,000百万円）
工事場所	マレーシア - クアラルンプール及びセラングール州





サマナラウエバダム水力発電所・仮排水路トンネル工事

工事目的	ダム本体工事の為の仮排水路トンネル
工事期間	1987年3月1日～1988年4月30日(14ヶ月)
企業者	セイロン電力庁 (CEB)
コンサルタント	日本工営株式会社(日本) エレクトロワット・エンジニアリングサービス社 (スイス)
設計会社	サー・アレキサンドル・ギブス アンド・パートナー (英国)
請負金額	¥ 2,200百万円
工事場所	スリランカ - サマナラウエバ

ツンワットシン灌漑水路建設工事

工事目的	灌漑用水路建設73Km (42Km ²)
工事期間	1985年1月～1987年10月
企業者	タイ・灌漑省
コンサルタント	GIBB-TEAM-ELC 共同企業体
請負工事費	US\$ 12million
工事場所	タイ - ウタイタニ

ラパス～マルカーラ国道工事

工事目的	国道 (距離 68.2km x 道路幅 6.7m)
工事期間	1984年8月～1987年12月(40ヶ月)
企業者	ホンジョラス政府
コンサルタント	Conskultores Asociados de Honduras
請負契約額	¥ 4,025百万円
工事場所	ホンジョラス共和国 - テグシガルパ

ガルガルロックフィルダム建設工事

工事目的	灌漑及び水力発電
工事期間	1983年12月～1988年8月 (56ヶ月)
企業者	水資源及び森林省 (ANB)
基本設計	アトキンス社 (英国)
詳細設計	ハルザ・エンジニアリング社 (米国)
コンサルタント	コバ社 (ポルトガル)
請負工事額	¥ 14,600百万円
工事場所	アルジェリア - ルリザン県



Work Experience by Founder

ジェッタ下水シールドトンネル建設工事

工事目的	下水トンネル
工事期間	1984年7月～1987年11月（40ヶ月）
企業者	サウジアラビア政府
請負金額	¥ 6,065百万円
工事場所	サウジアラビア - ジェッタ

第2ヤンブー海水循環パイプ配管工事

工事目的	火力発電所冷却水パイプライン
工事期間	1985年2月～1987年8月（28ヶ月）
企業者	サウジアラビア政府
コンサルタント	サウジアラビア・パーソンズ社（SAPL）
請負契約金額	¥ 7,317百万円
工事場所	サウジアラビア - ヤンブー

第2クリカニ水力発電所建設工事（ダム・発電所・導水路トンネル）

工事目的	水力発電
工事期間	1983年11月～1986年10月（35ヶ月）
企業者	ネパール電力庁
コンサルタント	日本工営株式会社（日本）
請負契約金額	¥ 5,967百万円
工事場所	ネパール - クリカニ



マハベリ灌漑用水路建設工事

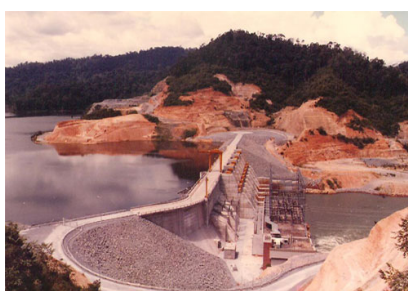
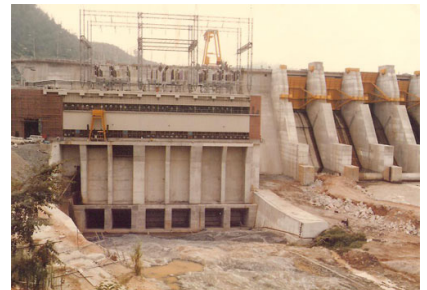
工事目的	灌漑用
工事期間	1983年6月～1988年10月（64ヶ月）
企業者	スリランカ灌漑省
コンサルタント	日本工営株式会社（日本）
請負金額	¥ 14,870百万円
水路総延長	120km
工事場所	スリランカ - マハベリ



Work Experience by Founder

ケネリндаム水力発電所建設工事

工事目的	水力発電
工事期間	1980年7月19日～1983年10月1日（39ヶ月）
計画発電量	120,000KW（40,000Kw x 3基）
企業者	マレーシア電力庁（NEB）
コンサルタント	シャウィニンガン・エンジニアリング社（カナダ）
請負契約金額	RM 110 Million（¥11,362百万円）
工事場所	マレーシア - ペラ州

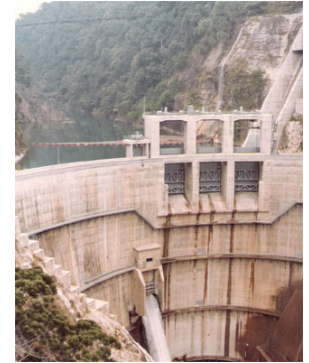




Work Experience by Founder

アサハン・タンガ水力発電所新設工事

プロジェクト用途	アルミ生産用電力の水力発電
工 期	1979年2月-1983年3月
計画出力	317,000KW (79,200x 4基)
企業者	P.T. インドネシア アサハン アルミニウム アサハン開発公社 (インドネシア政府)
技術指導 コンサルタント	東京電力株式会社 日本工営株式会社 (日本)
施工場所	インドネシア - スマトラ島



View From Up-Stream



View From Down-Stream
with TANGGA FALLS



Work Experience by Founder

テムンゴールダム水力発電所建設工事

工事目的	水力発電
工事期間	1973年12月～1977年9月（46ヶ月）
計画発電量	380,000KW（95,000Kw x 4基）
企業者	マレーシア電力庁（NEB）
コンサルタント	シャウイニンガン・エンジニアリング社 （カナダ・モントリオール）
契約金額	RM 160 Million（¥18,477百万円）
工事場所	マレーシア - ペラ州・グリック



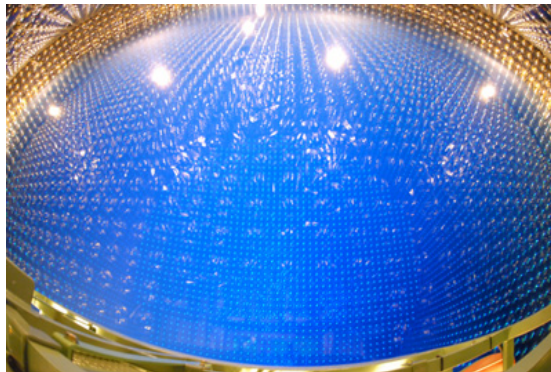


三井金属神岡工業所鉱山探査用トンネル掘削工事

用途	鉱石探査（亜鉛Zinc, 鉛Lead, 銀Silver, 硫酸Sulfuric acid）
担当期間	1970年3月～1975年8月
企業者	三井金属神岡工業株式会社
請負金	¥ 1,500百万円
工事場所	岐阜県吉城郡神岡町



手前は神岡町
向う側は鉱山、及び製錬所



掘削した探査坑は現在、東京大学宇宙線研究所
神岡地下観測所（カミオカンデ）として
世界最大の『ニュートリノ』観測施設となっている。

河川災害復旧工事

用途	河川改修
担当期間	1969年5月～1970年2月
企業者	愛知県河川局
請負金	¥ 194 百万円
工事場所	愛知県北設楽郡黒川村

水窪ダム水力発電所建設工事

用途	発電事業
担当期間	1967年4月～1969年4月
企業者	電源開発株式会社
請負金	¥ 3,618 百万円
工事場所	静岡県磐田郡水窪町

KOJIMA CORPORATION SDN.BHD.



<http://www.kojimacorporation.com>